

2月に入りました。節分は明治30年(1897年)以来、124年ぶりに2月2日になります。そして、3日は立春です。立春は『暦便覧』に、「春の気立つを以って也」と記されています。寒さが底を打って、春の兆しが立ち始める日なのだそうです。校庭の桜の木に目をやると、芽が膨らみ始めており、たしかに春の兆しを感じます。

一方、新型コロナウイルス感染症はとどまるところを知らず、拡大の一途をたどっています。大都市圏では毎日数百名の新規感染者が発生し、本県は年末年始に比べれば減少傾向にあるとはいえ、毎日2桁の新規感染者が発表されています。

このため、感染から身を守る対策は、終わりの見えない闘いになっています。そこで本校では、多くの人が一室に会するような行事は、2部に分けたり、人数を制限したりしています。2月最終日の『6年生を送る会』は、5年生と6年生だけが出席し、他の学年はビデオ出演としました。また、3月の『卒業式』も体育館の容量を鑑みて、出席者を卒業生とその保護者、教職員のみにすることにしました。

6年生にとっては、小学校生活を振り返り、共に過ごした思い出と新たな決意を分かち合う場であり、下学年にとっては、6年生への感謝と祝福の気持ちを表す場ではありますが、感染のリスクを高めるわけにもいかず、心苦しいですが、このような措置を取らせていただきます。



長崎県花き振興協議会から、今回も立派なフラワーアレンジメントが届きました。

進級・進学に向けて、プロジェクトが進行中!

6年生プロジェクト・・・5年生



YEGとの授業風景

学校を支える6年生になるために、12月から「6年生プロジェクト」を始めています。そのためには、どんな力を身に付けていくべきか話し合い、6年生にインタビューをするとともに、諫早市商工会青年部(YEG)の方々に来ていただき、「リーダーになるための心構え」を教わりました。

その中で、「リーダーシップを発揮する場は人それぞれで、まずは自分の長所を生かすことが大切である。」というお話をいただきました。この言葉から、自分なりのリーダー像を描き、自分たちの良さも生かせるような取組を考えていきました。

具体的には、「2年生との交流遊び」や「下級生へのポスター作り(雨の日の過ごし方や廊下歩行、ワンストップあいさつ)」、「朝活動(玄関掃除とあいさつ運動)」などに取り組んでいます。



朝の玄関そうじ

卒業プロジェクト・・・6年生



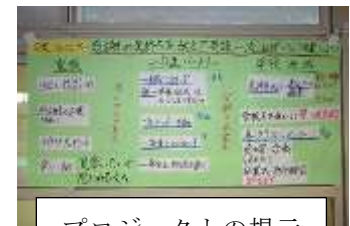
体育館の隅々を清掃

今までお世話になった家族、先生、地域の方、そして1～5年生に「感謝の気持ちを伝えて英雄、一流、伝説になって卒業しよう」というテーマを掲げ、取り組んでいます。

家族には、手伝い・感謝の手紙・手作りプレゼントなどを、1年生パートナーには、共遊びや手紙・イベントを計画しています。また、学校・地域には、気持ちのよいあいさつ・返事、学校の清掃、運動場壁面の交通安全のイラスト描きを計画したようです。

先日は、6年生全員で、普段できていない体育館の用具倉庫やギャラリーの清掃、窓や床磨きなどをしていました。

みんなに喜んでもらうと同時に、下級生に手本を示すためにも、気持ちを込めて取り組むと意気込んでいます。



プロジェクトの掲示

いろいろな方に出前授業をお願いしています

前述の諫早市商工会にも、いろいろな業界の方に学校へ来ていただき、専門家から知識・技能を学んでいます。



諫早交響楽団ふれあい音楽交流会（12月23日）

対象：ひまわり・なのはな学級、4年生

諫早交響楽団の方々に、バイオリン・チェロ・クラリネット・トランペットによる演奏をしていただきました。楽器の解説とクリスマスにちなんだ曲や子どもにも親しみのある曲を聴かせていただきました。また、子どもたちの合奏も聴いていただきました。

薬物乱用防止教室（1月15日）

対象：6年生

学校薬剤師の藤原先生に、薬物についてお話をさせていただきました。病気を治す薬にも副作用があること、麻薬や危険ドラッグは人生をも狂わすので、絶対に手を出さないことを教わりました。

そして、たばこお酒は依存性が高く害もあるので、注意してほしいと呼び掛けていました。



長崎新聞社出前授業（1月20日）

対象：5年生

長崎新聞社編成局の方々に、新聞の作り方や取材のしかたを教わりました。新聞づくりは時間との勝負、翌朝までに県内各地へ新聞を届けるために、いろんな機械や工夫があることを学びました。

また、記者の方からは、どんな思いをもって記事を書くのかや新聞の効果的な読み方も教わりました。

模擬選挙出前講座（1月29日）

対象：6年生

諫早市選挙管理委員会の方々に、選挙に関する知識を教わった後、市長選挙の疑似体験をさせていただきました。3人の立候補者の選挙演説から始まり、本物の投票用具や投票用紙を使って、投票までを実際の手順通りに行いました。開票作業も目の前でしていただき、選挙や投票を身近に感じることができました。



喜々津小PTAが受賞と研究発表 ～諫早市PTA研究大会～

1月23日（土）、諫早文化会館でPTA研究大会がありました。今年度はコロナ禍のため、表彰や研究発表の関係者のみが参加し、その模様を録画したDVDを後日、各単Pに配付するという方式が採られました。

本校PTAは、広報紙「あけぼの」が今年度も「県PTA広報紙コンクール優秀賞」を受賞し、表彰を受けました。そして、樋口PTA会長が、「家庭・地域・学校をつなぐPTA～広報活動を通じた活動の周知とつながりを目指して～」という題で研究発表をされました。

PTA活動を身近なものにするために、広報紙などを活用して取組を紹介し、会員の参加意識を高め、数々の行事を活性化してきた事例が発表されました。指導助言の先生からも、保護者・地域の横軸のつながりを深めた良い取組であると、お褒めの言葉をいただきました。

